

1. 授業の概要(ねらい)

租税は公共サービスの財源であるとともに、所得格差の是正、経済政策手段としての機能を有しています。学生の皆さんにとっては、消費税の負担に加え、いずれ所得税の納税者となり、また、起業、会社等に就職すれば、法人税ともかかわりを持つことになります。このように、税は国民の活動、生活に深くかかわっています。しかしながら、税を負担しながら、税の仕組みについて理解している方は多くありません。税法は専門的で技術的な規定が多く、毎年、改正されるため、難しいと感じることが原因の一つかと考えます。

税の細かい知識は必要はありません。必要に応じて、HPなどで確認すればよいと考えます。この授業では、我が国の主要な税目について、仕組み・概要を理解するとともに、制度趣旨・背景についても考えます。

2. 授業の到達目標

- ①所得税の仕組みを理解する。
- ②所得税に関する問題点についての探求力・分析力を修得する。

3. 成績評価の方法および基準

授業への参加姿勢(50%)及びレポート(50%)で評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書

特定のテキストは使用しない。

参考文献

税務大学校 税務大学校講本「所得税法」 税務大学校HPから入手できます。

5. 準備学修の内容

毎回の授業の該当部分について参考書を読んでおくこと。

6. その他履修上の注意事項

7. 授業内容

- 【第1回】 所得とは何か
- 【第2回】 所得税の計算の概要
- 【第3回】 非課税所得
- 【第4回】 収入金額と必要経費
- 【第5回】 事業所得・不動産所得・山林所得・雑所得
- 【第6回】 給与所得・退職所得・公的年金
- 【第7回】 利子所得・配当所得・譲渡所得・一時所得
- 【第8回】 総合課税と分離課税
- 【第9回】 所得控除(人的控除以外)
- 【第10回】 所得控除(人的控除)
- 【第11回】 税額の計算・税額控除
- 【第12回】 源泉徴収・申告・還付
- 【第13回】 所得税の国際比較・最近の税制改正
- 【第14回】 判例研究1
- 【第15回】 判例研究2